

例会報告

第2344回例会報告議事録

日時 26年7月1日(火曜日)

場所 ホテル マークワン 我孫子

時間 12:15点鐘

ゲスト: 海上保安庁 鴨田様

柏RC 根本会長、勝田幹事

柏東RC 中村会長、酒巻幹事、渡邊直前会長、荒木会員

国家斉唱

ロータリーソング「奉仕の理想」

会長挨拶

上村文明会長



2014-2015年の会長を勤めさせていただき上村文明です。RI会長は台湾のゲイリーC.K.ホァン氏で「LIGHT UP ROTARY ロータリーに輝きを」をテーマとして今年度一年間やらせていただきます。2790地区のガバナーは宇佐見ガバナーです。

今日は大勢の方にご出席いただき、緊張感もより高まりまして、ありがとうございます。今後ともどうぞよろしくお願い致します。

転勤のご挨拶

高橋会員



この度6月27日に辞令が出まして、京葉銀行本部のリスク管理部という所に転勤することになりました。2年間という短い間でしたが、大変ありがとうございました。2年前、渡辺支店長から引き継ぎまして、私は心の身近な支店長になるように努めますと申し上げたのですが、なかなかそこまで至らなかったかもしれません。ロータリーの色々な行事に参加させていただきました。レンゲまつり、上高地への旅行等、非常に楽しい思いをさせていただきました。ありがとうございました。後任につきましても、どうぞよろしくお願い致します。

菅谷会員



高橋会員の後任の菅谷と申します。船橋の北習志野支店より参りました。住まいは成田です。家族は妻、子ども3人の5人家族です。まだ来て間もないものですから、わからないことばかりですが、皆様にご指導いただければと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

親睦委員会報告

荒井委員長



今年度、親睦委員長を仰せつかりました荒井です。親睦のことは全くわからないのですが、今回の親睦のメンバーの中に歴代の親睦委員長が何名もいらっしゃいますので、いい企画を生んで親睦を高めたいと思います。一年間よろしくお願い致します。

出席報告

依田委員長

26名出席(全員で26名) 出席率100.0%

柏ローターアクトの近況について

柏RC 勝田幹事



貴重なお時間をお借りしまして、ご報告させていただきます。毎年、会員名簿を10分区合同で作っておりますが、最後に柏ローターアクトというページがあります。昨年は4名でした。1名の方は満30歳ということで卒業され、1名の方は活動停止中、残る2名の方は昨年12月までは活動していましたが、現在活動停止中です。従って、次年度会長を決める4月の理事会は行われませんでした。今年度、会員名簿をどうするか現在検討中です。事務局は柏RC内ということで決定しておりますが、会員名簿については今後早めにご報告致します。よろしくお願い致します。

松本ガバナー補佐より



丸田ガバナー補佐幹事と共に、皆様の御理解と御協力の程を宜しくお願い致します。

私共の方からは、ガバナー補佐は上村会員、瀧日会員が既にお出になっています。

ロータリーの魅力とは何かについて考えて参りました。

ひとつは4つのテストだと思います。宇佐見ガバナーは原点回帰をテーマとしておりますが、職業奉仕が根幹であるとおっしゃっています。真実であるか、公平であるか、好意と友情を深められるか、みんなの為になるか、私は自分の職場や業界で何かを決める時にこれを大事にしています。それによって出た結論は基本的に間違っていないと思います。

2つ目は、ロータリーはプロの集団の集まりだということです。各業界の中でそれぞれ何十年も経験と見識を深められた方々がお集りになっています。自分の他の業界に関しては、どんなに専門誌を読んでも足元にも及びません。ロータリーで食事をする時、例会の卓話、親睦旅行に行った時等、色々なお話しをお聞きする事ができ、大変役立っていると共に、実際、大変助けられたことが現実にございました。

3つ目は、ロータリーは福の神の集まりだということです。各業界で成功されている、又はこれから成功なさろうとする方々は運を呼ぶ力をお持ちになっています。そういう方々と交わる事は、自分にとって大変な財産です。職業奉仕ひとつ取りましても、ロータリーの魅力はいくつもあります。

私はこの任期の一年間、ロータリーの為に、ロータリーの魅力を理解し、ロータリーを一層好きになっていただくことを目標として微力ではございますけれども、頑張ってお参りますので、皆様の御理解と御協力の程お願い申し上げます。

幹事報告

服部幹事



一年間、幹事を勤めさせていただき服部でございます。どうぞよろしくお願い致します。

・2014-2015年の各委員会セミナーの7、8月の予定

管理運営委員会 7月27日(日) 奉仕プロジェクト委員会 8月10日(日)

会員増強退会防止委員会 8月23日(土) ロータリー財団委員会 8月3日(日)

広報公共イメージ委員会 8月1日(金) 米山奨学会委員会 8月24日(日)

・今井会員の県政報告会が7月12日(土)午後2時よりトヨーガード内のアビホールにて行われます。お時間のある方はご参加ください。

野田会員の近況報告

鈴木会員

2、3日前に野田会員に会いに行ってお参りました。心配していた病気ではなく、OKの病気ですが、治療には時間がかかります。7月いっぱいには慈恵の方に入院しなければならないそうですが、8月にはゴルフの予定を入れていらっしゃるようです。真っ黒な人でしたが、色白になっていました。

また、お時間が取れましたら7階の方に短い時間のぞいてあげたら彼も退屈しのぎになるのではないかと思います。順調に行くだろうとの事でご心配のないようにと言付かって参りました。

ニコニコBOX

お名前	メッセージ	金額
柏東RC	中村会長、酒巻幹事、渡邊直前会長、荒木会員 以上 メーキャップに伺いました。	4,000円
荒井会員	親睦委員長がんばりませーす!	2,000円
井上会員	先日、白内障の手術が無事終了しました。	1,000円
今井会員	6月定例県議会で自民党を代表して質問させていただきました。 多くの地元の方々に傍聴していただき、ありがとうございました。	3,000円
	勝えい会ゴルフ大会を6月23日に開催し多くの皆様に参加していただきました。ありがとうございました。	2,000円
上村文明会長	出席100%有りありがとうございます。	1,000円
木村会員	今年度のS.A.A.をやらせていただくことになりました。 一年間よろしくお願いいたします。	1,000円
藤尾会員	本日、ダビンチを用いての100例目の前立腺癌症例の手術が行なわれています。感謝です。	10,000円
松本会員	ガバナー補佐に御協力、御理解お願い申し上げます。	2,000円
		当日計 26,000円
		今期累計 26,000円



本日はこのような機会を与えていただきまして本当にありがとうございます。高齢になってきて、誰も話を聞いてくれる人がいない中で、こんなたくさんの方に聞いていただけるので、ちょっと舞い上がっておりますが、一応それなりに覚悟はつけて参りました。

私は4、5年前に第11管区海上保安本部の次長という職で海上保安庁を退職しておりますので、現在の尖閣の状況は報道や後輩からの話でしかわかっておりませんが、基本的なところは全く変わっていないと感じております。

海上保安庁に入って、まだ若かりし頃、海上保安学校で研修を受けて現地に行く訳ですが、それなりに生意気にやっていたが、経験がないと、最低限一年はそこにいないと海域のことについて先輩にあだこうだということはいえないということに嫌というほど知らされました。

今、尖閣は人も300人、600人と一気に増員が認められていますが、人は追いつきません。最低限2、3年が必要になります。船も千トン型巡視船10隻という予算がついていますが、発注してから2、3年かかります。民主党の野田政権の時に、尖閣を国有化して中国の対応がああいうことだからと10隻の巡視船の増強が認められましたが、それもまだ出来上がってきておりません。海上保安庁の一番大きな巡視船はあきつしまという船です。

私が現場で諸先輩から厳しく指導を受けていた時の話をしたいと思います。

日本船舶でしたが、犯罪を犯したということで追いかけて行った時、相手船が止まらないので乗り移る事になりました。小さな船に乗り込んで、1、2、3で飛び移るんだぞと先輩に言われ、1、2、3で行ったら私一人でした。20分程度でしたが、ぼっと出の新人が一人でした。身体に絵の描いた人でしたが、度胸があるねと言われました。

遭難信号が出て、包圍探知機で船を探し、やっと見つけたら半分以上沈んでいました。乗組員は3人でした。巡視船は大きいですが、実際に救助するには巡視船に積んでいる小型艇に乗って助けに行きました。3人助け、すぐにその場を離れたのですが、巡視船の方から誰の判断で現場を離れたんだと言ってきました。無線でやかましく言うのですが、現場の指揮をしていた方は意に介さずに、離れるということで4、5百メートル離れた。2、3分後に船が下りて沈んで行って、水圧で船がバラバラになって鉄の塊がいっぱい飛んできましたが、事なきを得ました。船のブリッジから指揮する航海長等が「的確な判断だった」と話していましたが、こんな組織でいいのかなと思ながら最初の頃は過ぎました。助けた3人から最初はすぐ感謝されましたが、4時間くらいたった後に、助けに来るのが遅かったから船が沈んでしまった、一回事故を起こしたら保険はべらぼうに高くなる、俺たちの税金で養ってやってるのに助けに来るのが遅いとはどういふことだと怒られました。私は、それが人間の姿かなと思いました。

海上保安庁はいつから出来たかをお話します。戦後の混乱の中で連合国のGHQに統治されていた時に、韓国の方でコレラが流行り、密猟、密航で暗黒の海と化していました。そこで運輸省の中に不法入国監視なんかというのができ、その後、海上の治安維持の為にアメリカのコストガードに似た組織ができ、GHQの方に申請をして一年後に海上保安庁が発足しました。

朝鮮動乱が勃発し、日本は復興需要に湧いたようですが、その時に軍のようなものが必要だということになり、警察予備隊ができ、それが自衛隊に移行して行きました。国会の中にある大図書館でちょっとかま見たのですが「洋上でいきなり自衛隊が出て行ったら、また戦争になる。とりあえず海上保安庁を残しておいて、警察力で対応し、その間に我が国の行くべき道を判断すればよいのではないか」ということで、海上保安庁が残った」というようなことが書物に書いてありました。まさに今、その通りかなと思っております。

昭和28年に韓国が竹島の領土を主張し始めました。巡視船が近くまで行くと、2発撃たれました。外務省の人間を乗せて近くまで行きましたが、銃を向けられ竹島の領海内には入っていません。尖閣ですが、昭和47年5月15日に沖縄が復帰した時から海上保安庁は巡視船を1隻、常時配備しています。北方四島については戦後にソ連の領土となり、返還の要求をしていますが、今まで漁民が漁に行き1500隻くらい拿捕され、帰って来たのは500隻くらいです。ヘリで撃たれたこともあります。その間に立て、拿捕を阻止することを海上保安庁はやってきました。

北方四島は北海道から見えます。竹島は島根県へ行っても見えないです。尖閣も一番近い石垣島からも見えません。

沖縄が復帰する頃に、尖閣の付近で石油が出る可能性が高いと国連が報告しました。アメリカは施政権は日本に返すが領土の帰属に関してはあやふやにしました。2012年9月11日に民間の所有者から買い上げ国有地にした、ということから中国から盛んに出て来ています。

尖閣で海上保安庁はどうしているのか、なぜ領海内に侵入した中国船を強制退去できないのかと言われます。外国の軍艦は動く大使館のようなものです。「出て行ってください」としか言えません。中国の公の船、公船に関しても同様です。現場に聞くと、近くに来ている何隻かの船に「退去しない」という時、膝が震えるそうです。対馬の海域では、相手の漁船に乗り込んだり、検査しています。

我が国は憲法9条で平和について学校の先生から教えられて来ました。戦争はしないけれども、そういう事態に陥った時にどう対応するのかを議論したことも教えられた事はありませんでした。果たしてそれでよかったのか。

時間が足りず、中途半端なとりとめの話になってしまいました。海上保安庁の現場は警察力で更にソフトな警備で、政治家の方達が民間の船に乗って尖閣の現場へ近づこうとしたりされていますが、中国側はそれを追い払うような行動をします。日本の漁船が操業している所へ行って、中国の船が立入検査をしたり、自分らの主権を行使しているという形になっています。早く、なんらかの方法で解決してもらいたい。海上保安庁が尖閣を守っているのは、決して尖閣を守る為に守っているのではなく、我が国の警察権を行使するためだけにやっているのだから、解決は我が国民の意思にかかっているのではないかと思います。経緯を40年間くらい見ていると、中国の方は徐々に徐々に、と戦略的だと現場では思いました。

質疑応答

Q:煙突の横に付いているマークは一隻一隻手作りだと聞いた事があるのですが本当ですか。

A:昭和20年代くらいまでは型版がなかったので乗組員の手作りだったそうです。溶接の技術もよくなかったので、戻ってくるようになっていくこともあったそうです。

Q:領有権というのは外務省や外交で解決できないと思うのですが、どうするのが一番いいのでしょうか。

A:竹島については日本と韓国がOKしないと国際司法裁判所が機能しないのですが、尖閣については領有権は明らかに日本だということで、仮に中国が提訴してもうちは応じないと、竹島と我が国の立場は逆になっています。我が国の方が理にかなっているのは間違いないと思います。理不尽なゆえに力を行使しています。竹島については我が国は提訴するけれども、尖閣についてはそんな提訴は受けられない、とこういう風なちよつと違う所がよくわからない部分です。

日本は海に囲まれているが、ほとんどの方は陸上に住んでいますから国境線は感じません。海では漁業等やっている方は国境線を感じます。線は引かれていますが、領海の外で我が国の船が当てられても裁判の管轄権が及ばない等、もどかしい思いで国境線を感じます。そういう所から始まるのかなと思います。

閉会の言葉

上村文明会長

鴨田さん、本当にありがとうございました。時間があれば色々も聞きたい所もあったのですが、考えさせられる所も多々ありました。

今日は7月1日ということで、早く例会が開始できました。一年間よろしくお願ひ申し上げます。会長が至らないものですから、活動計画書等、周知徹底していないところがあります。今日はこれから理事会がございますので、理事の皆様方と相談しながら計画を立て、実行していきたいと思ひます。今日は本当にありがとうございました。

今週の表紙「鈴木屋本店」千葉県我孫子市寿1丁目10番21号

国道356号線沿いにある創業1879年(明治12年)という老舗の割烹です。現在の建物は昭和30年代に建てられました。全室和室の個室でゆっくりと日本料理を味わえます。大広間には舞台があり、お稽古事等の発表会もできます。毎月一度、日曜の夕方に「わいわい亭」という寄席が開催されています。おいしい料理、行き届いたサービスにも定評のあるお店です。

ロータリーの友事務局 ホームページ www.rotary-no-tomo.jp メールは web@rotary-no-tomo.jp

環境NPOオフィス町内会が中心となって2005年に立ち上げた新たな間伐促進活動が「森の町内会」です。この活動に賛同して「印刷用紙」や「コピー用紙」を使用する企業は2009年9月現在、92社にのぼり、その環境貢献として促進される岩手県岩泉町・葛巻町・青森県三沢市での間伐は、年間30haの規模になっています。グリーン購入大賞で大賞を、山村力コンクールで林野庁長官賞を受賞しています。



この印刷物に使用している用紙は、森を元気にするための間伐と間伐材の有効活用に役立ちます。

我孫子ロータリークラブは、環境貢献として、「森の町内会」を応援します。